

三郷市まちづくり委員会第7回会議 会議録

開催日時	令和8年2月19日(木) 13:57~14:52	
開催場所	三郷市役所 本庁舎6階 全員協議会室	
出席者	委員	篠宮委員長、鷹副委員長、大山委員、恩田委員、山口委員、神谷委員、安晝委員、茂木委員、水落委員、黒澤委員、池上委員、大熊委員、荒尾委員、佐藤委員(14人/15人)
	三郷市	日暮企画政策部長、平川総務部長、松本危機管理監、妹尾財務部長、浅井市民生活部長、小暮地域振興部長、益子いきいき健康部長、田中福祉部長、須賀こども未来部部長、相馬建設部長、城津まちづくり推進部長、田口会計管理者、浮田水道部長、山本消防長、西村学校教育部長、横田生涯学習部長、島村議会事務局長、萩原行政委員会事務局長
	事務局	企画政策部 松井副部長 企画政策課 斉藤課長、澤野課長補佐兼企画調整係長、横田主査、渡邊主任、遠藤主事 富士通(株) 東シニアディレクター、石丸コンサルタント
傍聴者	0名	
公開又は非公開の別	公開	
議題等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第5次三郷市総合計画後期基本計画(案)について (2) 第5次三郷市総合計画後期基本計画に係る答申(案)について 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 後期基本計画期間中の進行管理について 5. 閉会 	
配布資料	次第 【資料1】第5次三郷市後期基本計画(案) 【資料2】パブリック・コメント手続の結果について 【資料3】第5次三郷市総合計画後期基本計画について(答申) 【資料4】総合計画における進捗管理の流れ 【資料4参考資料①】進捗状況(令和6年度実績、令和8年1月時点) 【資料4参考資料②】後期基本計画における成果指標(案) 【参考資料】三郷市まちづくり委員会 会議意見・提言シート 【当日配布資料】第7回会議事前質問シート	

【議事要旨】

1. 開会

2. 委員長あいさつ

今回の議題は、「第5次三郷市総合計画後期基本計画案」及び「後期基本計画に係る答申案」である。後期基本計画案は、これまで6回の会議で話し合いを重ね、パブリック・コメントを経た最終案となっている。答申案についても、前回会議での意見を踏まえ、事務局で修正した最終案である。

本日が三郷市まちづくり委員会最後の会議であり、これまでのご協力に感謝するとともに、今回も忌憚のないご意見、ご提言をいただくようお願いしたい。

3. 協議事項

(1) 第5次三郷市総合計画後期基本計画（案）について

事務局より、【資料1】及び【資料2】に基づき、後期基本計画（案）に対しパブリック・コメント手続において市民から寄せられた意見及び市の回答案について説明をした。あわせて、パブリック・コメント手続の結果を踏まえた後期基本計画（案）の修正箇所は生じなかった旨を説明した。

また、本議題に対する委員からの事前質問を受け、施策 2-1-3「こどもや子育て家庭への支援について」は注釈の追記を行うと説明した。

事務局より以上をもって、後期基本計画（案）を委員会に諮る旨を示し、委員より次のような意見があった。

- ・パブリック・コメント手続において関心が示された「こどもの居場所」について、市の重要施策として推進してほしい。（鷹副委員長）

その後、篠宮委員長より委員に対し、後期基本計画（案）に異議がないことを確認した。

(2) 第5次三郷市総合計画後期基本計画に係る答申（案）について

事務局より、【資料3】に基づき、第5次三郷市総合計画後期基本計画に係る答申（案）について説明をした。答申（案）は、第6回委員会までに委員から出された意見を踏まえて取りまとめられ、その後の意見を受け事務局で一部修正したものである。本答申（案）は本委員会で諮り、承認を得た後、2月26日に篠宮委員長から木津市長へ直接交付する予定となっている旨、改めて説明した。

それに対し、委員からの質疑・意見はなかった。

その後、篠宮委員長より委員に対し、答申（案）に異議がないことを確認した。

4. 協議事項

(1) 後期基本計画期間中の進行管理について

事務局より、【資料4】、【資料4参考資料①】及び【資料4参考資料②】に基づき、後期基本計画の計画期間中における進行管理の方法及び令和6年度における総合計画数値目標（地域再生計画）の進捗状況について報告をした。これまでのまちづくり委員会からの「計画策定と進捗管理の連携が不十分」との指摘を踏まえ、後期基本計画では、市が実行した施策・事業は新たに設置する「三郷市総合計画等懇話会」にて施策・事業に係る指標の進捗と市民実感の乖離をもとに効果を検証し、その結果を踏まえ市が施策を改善する流れとする旨の説明をした。また、懇話会には本まちづくり委員会の15名の委員の中から7名に協力をお願いする予定であることを説明した。

あわせて、委員からの事前質問に対し、①「女性相談事業の相談枠に対する予約率」など目標概念になじまない指標については代替指標を検討すること、②指標の初期値・最新値・目標値の意味と設定時点、③数値目標と「増加・減少・現状維持」といった方向性指標を併用している理由、④「成年後見制度の利用件数の増加」など解釈が分かれる指標については代替指標を検討すること、等の方針を事務局から説明した。

それに関し、委員より次のような質疑・意見があった。

・【資料4参考資料①・②】について、人口減少局面下において参考資料①の2ページにある「防災リーダー養成人数」など人数そのものを増加目標とする指標は実情に合わなくなっているのではないかと懸念している。今後は懇話会の場で、人数目標を含め指標そのものの見直しや、項目変更を行っていく理解でよいか確認したい。また、参考資料②の4ページにある「市民文化祭出演者数」のように、現場感覚として今後増加が見込みにくいにも関わらず増加目標が置かれている指標についても、人口減少を前提に懇話会で柔軟に変更できる仕組みがないと、目標と実態の乖離が広がるだけになるのではないかと懸念している。(黒澤委員)

⇒人口減少下で人数指標が適切かどうか、また人数ではなく割合等で測るべきかといった点も含め、懇話会での議論を通じて指標の改定を検討していく。現状、【資料4参考資料②】に掲げた指標には「現時点で取得しやすい数字」で測っているものが多く、十分に煮詰め切れていない指標があることは否めない。その上で、市民文化祭出演者数などについても、人口比などの比率を使うか等も含め、庁内で検討を進め、懇話会での意見も踏まえて指標の見直しを図っていく。(事務局)

・【資料4参考資料②】に関し、4ページの「スポーツ・ウェルネスの推進」の指標で、現状値より目標値の方が低く設定されているなど、目標の方向性に違和感がある。また、人数指標なのに単位が「件」となっているなどの表記ミスや、【資料4参考資料①】の重点戦略に関わる星印がどの項目に付されているのか判然としない箇所があり、修正を求めたい。(水落委員)

⇒「スポーツ・ウェルネスの推進」の指標の一部については資料作成時の誤りであり、担当部からの意図と逆転した値になっている可能性が高いため、確認の上で訂正する。その他単位表記の誤りや星印の位置なども含め、完成版では全体を再点検し、正しい数値・表記に修正する。(事務局)

・【資料参考資料①】の1ページ目「消防団員充足率」を例として挙げるが、本取組に対して主体である消防団各班や消防署本署が努力している実態があるにも関わらず、施策の成果について議論が数値だけに終始していることに懸念がある。懇話会を設置するのであれば、数値だけでなく、実際どのような取り組みをしているのかを委員が理解した上で評価できるよう、時間をかけ丁寧に議論する場として運用できるよう要望したい。(神谷委員)

⇒この1年間の委員会では、どうしても広く浅い審議に留まらざるを得なかったと感じる。懇話会においてはその反省を踏まえた議論を進めていただきたい。懇話会の人選については事務局に一任いただく形になるが、委員の皆様には引き続きご協力をお願いしたい。(篠宮委員長)

・【資料4参考資料②】に示されている初期値・最新値・目標値が、担当課ときちんと確認された数字なのか質問したい。自身の関わる法人に関連する数値について根拠が不明瞭だった経過があり、今後の指標として用いる以上、正確な数値であることが重要だと思い、確認した次第である。(茂木委員)

⇒数値は一度、担当課・担当部で確認したものを事務局が転記している。もし誤りがあるとすれば、事務局側の転記誤りか、担当課側の算定誤りのいずれかと考えられる。(事務局)

○その他

篠宮委員長より、これまでの会議全体を通して意見があるか問いかけたところ、委員より次のような意見があった。

・一年間参加して、資料量が膨大で把握だけでも負担が大きいと感じた。次回5年後の改定

時には、技術の進展も踏まえ、より噛み砕かれた分かりやすい資料や仕組みを用意すること等、委員が議論しやすい環境づくりを検討してほしい。(山口委員)

5. 閉会

閉会にあたり、鴈副委員長より閉会の挨拶があった。

長期間にわたり忌憚のないご意見・ご提言をくださった委員の皆様、そして入念な準備と運営にあたってくださった委員長・事務局・市幹部の皆様への感謝を申し上げたい。過去にも委員として参加してきたが、今回は運営が的確で、これまで以上に活発な意見が交わされたと感じている。事務局においては、本委員会にていただいた意見を今後の計画運用に活かすようお願いしたい。

あわせて、三郷市が将来を見据え、市民や市外から訪れる方々にとってより良い街へと発展していくことを心から願い、閉会の挨拶とする。

以上

上記内容について、相違ありません。

令和 8 年 4 月 10 日

委員長

篠宮 尚

署名委員

佐藤 潤

署名委員

茂木 聡美

1957年10月

第 10 号

1957年10月

第 10 号

1957年10月

第 10 号

1957年10月